

桂川流域上野原市を巡る！

2015年8月28日(金) 8:30～17:00
相模湖湖上～上野原市 報告:中門 吉松

第7回目を迎えた今回から県境の境橋を越えて桂川流域を巡る。相模川と桂川の境は相模湖の湖面にあり川としての面影を見ることができない。そこで、相模ダム建設により水没した勝瀬地区居住者が地区の名称を未来永劫に残すため有志が出資して設立した「勝瀬観光」のモーターボート(小野澤さん・関根さんの案内)で川沿いの県境を越え、桂川左岸の上野原市新田に着岸して桂川流域を巡る第一歩を踏み出した。

”参加者： 会員(16名)、一般参加者(3名) 合計 19名

案 内： 上野原市観光ボランティア・酒井章雄さん…(酒井章雄さんは上野原での与謝野晶子研究の第一人者です)

桂川・相模川流域協議会幹事・中村道子さん *事前に桂川・相模川流域協議会幹事の宮野貴さんにコースの紹介して頂いた。

1) 相模湖～

上野原

モーターボートで
相模湖を上流へ



笑顔の参加者



曇り空で今にも雨が降りそうな中、船頭・小野澤さんが「今日の雨は東から来るので雨の前を上野原に向かいましょう」とスタート。湖底に沈む前の相模川跡を蛇行しながら上流へ向かった。



小野澤さんと笑顔の参加者



1号

2号



日連大橋の橋脚に集まったゴミ



諏訪の滝



溜まった土砂を浚渫中

①相模湖の土砂堆積(右岸の丹沢山塊は脆く崩れ易い、左岸の秩父山塊は堅く崩れない)②今年はアオコが発生していない(近年は減少傾向)③上流からのゴミが溜る(日連大橋、ダム堰堤に多い)④諏訪の滝はきれいだが生活排水で臭い⑤土砂浚渫作業中…水面からの見学は貴重な体験だった。(説明と感想から)

2) 上野原水辺の風景を巡る …上野原市観光ボランティア・酒井章雄さんの案内

上野原には与謝野晶子が愛した美しい風景がたくさんあります。その中でも桂川の水辺の風景は特に美しく、晶子も多くの歌を詠いました。大正10年43歳の時に初めて上野原を訪れてから、昭和16年に寝台自動車で最後の旅を終えるまで、与謝野晶子は幾度となく上野原を訪れました。(市HPより)

モーターボートで桂橋の近くに着岸、出迎えた酒井さんの案内で与謝野晶子の歌碑と絶景の桂川を眺めながら川沿いに歩いた。松留発電所近くの水辺公園にある歌碑は”今年の5月27日、晶子の命日に業績などを偲ぶ「白桜忌」(29日)の前に酒井さんなどの手により除幕されたばかりである。



依水荘



春の桜、秋には萩、夕暮れ時のビューポイント

上野原の美しい風景を詠った与謝野晶子の歌、解説を加えて話される酒井さんの言葉、どちらにも上野原の風景を深く愛する気持ちが感じられた。



桂川橋辺りに針金が引かれた渡し場があった



松留発電所

松留発電所は昭和3(1928)年4月運用開始。ハツ沢発電所からの流れを取水、落差4.24m水車1台の現役水力発電所である。

水辺公園にある歌碑↓



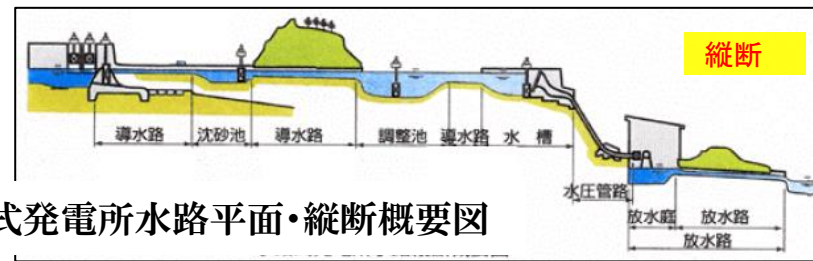
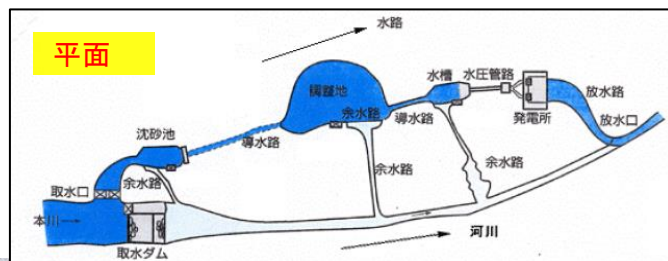
悉聖寺から眺める桂川、鶴川合流地

川が山が織りなす絶景、多くのアオサギやシラサギが川面に群れる光景に自然環境の豊かさを見ることができた。



3) 東京電力八ツ沢発電所、大野調整池見学 ……東京電力の説明許可を得ることができなかったので引き続き酒井さんに案内をお願いした。
駒橋の取水口から上野原市の大野調整池を経て八ツ沢発電所まで約14kmにわたる水路式発電施設です。明治43年から大正3年に建設された我が国の本格的な水力発電施設であり、水路トンネル・水路橋・えん堤など様々な構造物に高い建設技術が施され水路などが重要文化財に指定されている。

【八ツ沢発電所】営業運転開始：明治45年7月（全号機運転開始は大正2年9月） 出力：4.2万kw 有効落差：116.29m 最大使用水量：41.74m³/s



水路式発電所水路平面・縦断概要図



4) 龍泉寺で村上住職から上野原の歴史を学ぶ

龍泉寺は和同年間より伝わる天台宗白蓮寺が前身であり、鎌倉幕府に名馬池月を献上（全国で名乗り寺が数ヶ寺あり真偽は50%位と住職）した。この縁から古先禅師により改宗された時龍泉寺とし、山号は残した。近年本堂建立などの諸工事に於いて旧礎石や多量の板碑等の出土を見た。注目されるものは平安後期の経筒や、須弥壇から発見された鰐口や密教具である。また幻住派の血脈や書画は禅宗史の資料として貴重なものである。（臨済宗建長寺派寺院名簿より転載） …約30分間、村上住職から話をお聞きした後に本堂の天井絵、板碑、芋大明神の碑などを見学した。



鐘楼が見事な龍泉寺



住職のお話し



芋大明神の碑

5) 月見が池見学 月見が池は、一級河川桂川の河岸段丘に広がる農地を潤すため、支流の鶴川から1911年(明治44年)延長8,700mの「上野原用水」を整備し1931年(昭和6年)に造成された。2010年(平成22年)3月25日に農林水産省のため池百選に選定された。

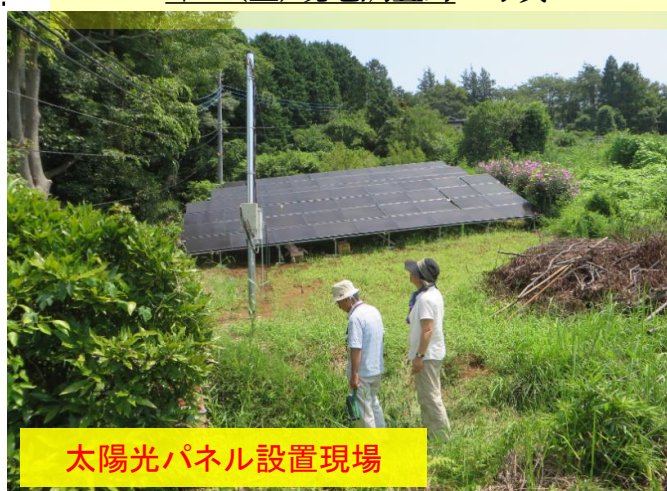
附けたり) 市民電力の設置現場
傾斜面の畑に設置された太陽光パネル
”水と森と太陽の恵み みんなの発電所”
*7/31(金)現地調査時の写真



月見が池



隣接する上野原市浄水施設



太陽光パネル設置現場